

花屋さんが教える  
夏の花を飾るワンポイントアドバイス

夏の切り花を美しく保つためには、以下の管理法を実践することが重要です。

01 新鮮な水を使う

切り花には新鮮な水が必要です。花瓶の水は毎日替えてください。  
室内の気温が15～17℃を超えると水中の雑菌が増殖し雑菌のフンや死骸がお花の導管や師管を詰まらせます。水が濁ってきたらすぐに新しい水と交換してください。

04 切り戻しをする

お花の切り口が古くなると水の吸い上げがしくくなります。水替えの際、お花の切り口を新しくする(5.6cm上で切り戻し)と再び水の吸い上げが良くなります。

02 延命剤を使う

必要に応じて切花用の延命剤を花瓶の水に溶かしてから花を生けます。延命剤には雑菌の増殖を防ぐ殺菌剤、お花の導管や師管の詰りを通す界面活性剤、お花を綺麗に咲かせるための糖が入っています。適切な分量の水に溶かして使用します。延命剤を使うと水替えの頻度を少なくすることができ、蕾のお花もきれいに咲き長持ちもしてくれます。

05 風の当たらない涼しいところに置く

切り花は高温多湿の環境では早く枯れやすくなります(お花の呼吸が活発になり、葉からの蒸散する水の量も多くなります)。夏の切り花は直射日光を避け、涼しい場所に置いてください。  
扇風機やクーラーの風が当たるところも避けて下さい。お花が乾燥してすぐに萎れてしまいます。

03 花瓶を洗浄する

花瓶には雑菌が繁殖しやすいため、定期的には花瓶を洗浄してください。洗剤を使用してよくすすぎ、完全に乾かしてから新しい水を注ぎます。

これらの管理法を実践することで、夏の切り花を美しく保つことができます。

ただし、花の種類によって最適な管理方法が異なる場合があるため、特定の花についてのケア情報を調べることもおすすめです。

花を愛でるライフスタイルを楽しんでみませんか。

花は人々の心を癒し、心豊かな暮らしをもたらしてくれます。  
毎日の生活に花を取り入れることで、気分や雰囲気が高まるのが知られています。  
日々の暮らしの中で花を生けたり、親しい人に花を贈るなど、  
毎日の暮らしに少しでも彩りを加えてみましょう。

花を愛でる3つのご提案

- 日頃の生活に花を取り入れましょう。
- 花で施設や地域を飾りましょう。
- 花を楽しみ、魅力を共有しましょう。



@fukuhsima.engai



ふくしまはちではの花

ふくしまの花とくらす夏



## 夏の時期の福島県産の「花」。

福島県は、浜通り・中通り・会津とそれぞれ気候や風土の異なる自然環境を生かした花の栽培が盛んな地域です。夏の時期も、露地やハウスなどでいろいろな花が栽培され出荷されています。ぜひ、福島県産の花を暮らしの中でご利用ください。



トルコギキョウ

出荷時期 6月～11月

[主な産地] 会津若松市・川俣町・郡山市・猪苗代町・会津坂下町



小ぎく

出荷時期 5月～11月

[主な産地] 福島市・川俣町・二本松市・新地町・伊達市



りんどう

出荷時期 6月～11月

[主な産地] 南会津町・只見町・下郷町・二本松市・いわき市



輪ぎく

出荷時期 6月～11月

[主な産地] 会津美里町・郡山市・いわき市・矢吹町・湯川村



ひまわり

出荷時期 5月～10月

[主な産地] 会津坂下町・南会津町・会津若松市・会津美里町・川俣町



アスター

出荷時期 7月～11月

[主な産地] 郡山市・会津若松市・二本松市・三春町・南会津町・鏡石町



テッポウユリ

出荷時期 6月～10月

[主な産地] 須賀川市・下郷町・飯館村・郡山市・いわき市



ユキヤナギ(青葉)

出荷時期 7月～10月

[主な産地] 須賀川市・福島市・塙町・泉崎村



カラー

出荷時期 5月～11月

[主な産地] 猪苗代町・南会津町・浪江町・磐梯町・川俣町・塙町



ダリア

出荷時期 9月～12月

[主な産地] 福島市・塙町・三春町・南会津町



宿根かすみそう

出荷時期 6月～11月

[主な産地] 昭和村・柳津町・南会津町・会津美里町・会津若松市



スターチス

出荷時期 5月～11月

[主な産地] 飯館村・天栄村・南会津町・会津美里町・西郷村